

ID	<<SYPID>>	患者氏名	<<ORIBP_KANJI>> 様
----	-----------	------	-------------------

肝切除術(傷害肝)を受けられる方へ

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。※何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください。

年月日	2018年4月1日	4月2日		4月3日	4月4日 ~ 4月6日	4月7日 ~ 4月9日	4月10日 ~ 4月12日	
経過	入院	手術当日		手術1日後	手術2~4日後	手術5~7日後	手術8日後~退院日(手術10日後)	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 感冒症状がなく、術前検査が終了している 手術の必要性が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱なく(37度以下)手術を受けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 痛みによる苦痛が少ない 安静が守れている 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 痛みが調整できる 安静が守れている 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 痛みが調整できる 体を動かすことができる 食事摂取ができる 傷の腫れや赤みがない 	<ul style="list-style-type: none"> 出血がない 発熱(38度)や検査値に異常がない 痛みが調整でき病棟内歩行ができる 食事摂取ができる 傷の腫れや赤みがない 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが調整できている 発熱(38度)や検査値に異常がない 食事摂取ができる 傷の腫れや赤みがない 	
検査治療処置	<ul style="list-style-type: none"> 検査や採血  点滴留置カテーテル挿入 	<ul style="list-style-type: none"> 血栓予防の弾性ストッキングをはく 術衣を着る 洗腸 	<ul style="list-style-type: none"> 集学治療病棟で管理 手術室で胃チューブ挿入(鼻から胃に管を入れる) → 抜去  ドレーン挿入(お腹に管を入れる) □ 酸素マスク 	<ul style="list-style-type: none"> 状態安定後、一般病棟へ移動 採血とレントゲン(胸・腹)検査 → 抜去  	<ul style="list-style-type: none"> 傷の確認、ガーゼ交換 	<ul style="list-style-type: none"> 採血とレントゲン、腹部CT  点滴留置カテーテル抜去 ドレーン抜去(お腹の管) 	<ul style="list-style-type: none"> 採血  	
内服薬注射	<ul style="list-style-type: none"> 下剤液(15時頃) 下剤錠剤(寝る前) 		<ul style="list-style-type: none"> 点滴  	<ul style="list-style-type: none"> 点滴 → 中止 	<ul style="list-style-type: none"> 皮下注射(血栓予防) → 中止 			
活動安静度	<ul style="list-style-type: none"> 自由 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドの上半身を徐々にあげて座ることができます(90°まで)  	<ul style="list-style-type: none"> 許可あれば病棟内歩行可 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食以降絶食 	<ul style="list-style-type: none"> 水分朝6時まで 	<ul style="list-style-type: none"> 食べたり飲んだりできません  	<ul style="list-style-type: none"> 朝6時から飲水開始  	<ul style="list-style-type: none"> 手術後2日目より食事再開 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> お臍のそうじ シャワー 洗髪 			<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます  		<ul style="list-style-type: none"> お腹の管が抜けたら、シャワーできます  		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限なし 		<ul style="list-style-type: none"> 手術室で尿管挿入 		<ul style="list-style-type: none"> 尿管を抜く トイレまで歩行 	<ul style="list-style-type: none"> 【退院基準】 食事を半分以上食べられる 傷の腫れや赤みがない 発熱(38度以上)がない 嘔気や腹部膨満感など消化器症状がない  		
指導説明書類	<ul style="list-style-type: none"> 医師より手術の説明 入院時オリエンテーション、術前・術後の準備等 ネームバンド装着  		<ul style="list-style-type: none"> 医師の術後説明  	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上でもしっかり足を動かしましょう  	<ul style="list-style-type: none"> できる限り、歩行して血液の流れをよくしましょう  	<ul style="list-style-type: none"> 【退院後の治療計画】 内服の継続 食事療養の継続 病理診断によって今後の方針を決定します。外来受診時に説明します 		
リハビリ・その他		<ul style="list-style-type: none"> 御家族を集学治療病棟に案内 		<ul style="list-style-type: none"> 【指導】 栄養指導 服薬指導 退院後の生活について指導 		<ul style="list-style-type: none"> 【退院後の生活について】 肝臓に効率よく血液を送るため、食後30分~1時間、できるだけ横になりましょう 入浴は食後2時間以降とし、疲労の強い時は控えましょう。ぬるめのお湯で15分~20分程度にしてください 過度の運動は避けましょう 便秘の予防をしましょう。便秘により腸内に便が停滞する時間が長くなると、腸の中でアンモニアという有害物質が増加し、意識障害を引き起こす恐れがあります 規則正しく、バランスの取れた食事をするよう心がけましょう。手術後の過剰なエネルギー摂取は脂肪肝につながるため、急激に体重が増えないように気をつけましょう 		
リハビリ・その他				<ul style="list-style-type: none"> 【連絡先】 徳島大学病院:088-631-3111 代表番号になっていますので、退院後は下記にお知らせください 外科外来:088-633-7136 				